

学校だより
はす

ぬま

ちゅう

かがみ

蓮沼中鏡

令和3年度 第11号
令和4年3月8日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大山 聡

3月2日保護者会より

先日はお忙しい中、保護者会へのご参加ありがとうございました。保護者会に参加されなかった方もおりましたので、私がお話した内容について学校だよりにてお伝えをします。今年度の保護者・生徒・地域・教職員のアンケートをもとに成果指標を評価し、来年度の計画を立てたときに、保護者会でお話した新しい取り組みを始めることにしました。ご意見、ご質問等がありましたら直接お話をさせていただきたいと思っておりますので、ご遠慮なくお知らせいただければと思っております。

生活のきまりについては、すでに生徒心得検討委員会から生徒には伝えていますが、変更点につきましては、今年度中に1、2年生の保護者のみなさまに書面にてお知らせします。

【保護者会で話した内容】

本日はお忙しい中、またこのようなコロナ禍第6波の中、本校今年度最後の保護者会にお集まりいただきありがとうございます。本日は、今年度の振り返りと来年度に向けていくつかお話をいたします。

まず、今年度ですが、昨年度と同様にコロナに振り回される一年になりました。こればかりはどうしようもないことなのですが、授業や行事をはじめ部活動にいたるまで、様々な制約のある中で行うことになりました。なんとか行うことができたものもありますが、残念ながら中止や縮小をしなければならなかったものもあり、子どもたちには2年間続けて我慢をさせてしまったなど思っています。3月に延期している行事もいくつかありますので、なんとかできたらと思っています。

さて、来年度についてですが、3点ほど保護者の皆様にお伝えすることがあります。

1点目は、生活のきまりの変更についてです。生徒心得検討委員会の活動については、学校だよりにてお知らせしてきましたが、生徒たちが意見を出し、話し合っただけで決定したきまりが完成しています。こちらの詳細については後ほど、生活指導主任からお話をします。

2点目は、来年度の教員の体制についてです。今年度までは、担任と副担任という役割分担をして学級運営をしてきましたが、来年度からは、担任と副担任といった区別はせず、学年の教員がすべての学年の生徒に関わっていくようにします。目的は3点ありまして、1点目は、担任、副担任という垣根にとらわれずに、学年教員が学年のすべての生徒を見ることにより、いじめの未然防止や登校することに後ろ向きな生徒へ必要な支援を行っていくこと、2点目は、生徒一人一人の変化に素早く気づき、多面的に生徒のよさを認め、自己肯定感を高め、主体性を育んでいくこと、3点目は教員の働き方がより柔軟にできるようにすることです。学級活動や道徳、総合的な学習の時間などの指導はローテーション制を活用するなどして対応していきます。欠席・遅刻・早退等の連絡や困ったときに相談したいことがあった場合は、学年のどの教員に話していただいてもかまいません。その他、細かい進め方については、新年度以降に順次お伝えしていきます。

3点目は各学級の名簿についてです。今年度までは男女別の出席番号順になっていましたが、来年度からは大田区として全校で男女混合名簿を使用することになっており、本校も変更していきます。

今後も保護者のみなさまの意見にも耳を傾け、子どもたちのために様々なことにトライしていきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。